



多くの職人たちとのつながりの中で、完成した時の喜び、やりがいは、ほかの業種ではなかなか得られないスケール感です。本道の建設業は、道内総生産や全産業就業者数に占める割合が高く、本道の主要産業となっています。

旭川市

花本建設株式会社  
土木部

森田 唯斗 さん

2022(令和4)年入社

花本建設株式会社では、「HCM推進室」という部署を設け、若手社員の育成や社員の離職等に関する対策部門として、旭川工業高等学校土木科教諭を退職した宮川淳氏を室長として迎え、建設業の課題となる「人財育成」に取り組み、自社のみならず建設業界の若手「人財」確保に向けた挑戦を行っています。

voice  
06

「わからないときは、先輩にまず聞くことが大切」と話す、森田さん。



風通しの良い職場で  
誇れる仕事を

▶創業以来培われた技術と経験で、舗装工事、土木工事などの公共建設を通じて市民生活を支えています。

### Q 建設業の道を選んだ理由を教えてください。

周りの大人の方々に建設業の仕事内容を教えていただいたところ、仕事の規模が大きく、道路や橋などインフラ整備に関わることができるため、とてもやりがいがあると感じ選びました。

### Q 花本建設へ就職した決め手を教えてください。

就職活動で当社の求人票を見つけました。土木工事や舗装工事のほか、北海道愛別町で栽培されたキノコの廃菌床や有機物をミミズに餌として与えてつくる有機肥料「ミミズッチ」も生産販売していることを知り、**仕事の幅の広さにやりがいを強く感じ選びました。**また、給与や賞与など労働条件の良さも魅力のひとつです。

さらに、私は高校在学中、バレーボール部に所属していたのですが、当社の花本金行社長が外部コーチとして指導に来てくれていました。学生のころから社長と面識があったことや、顧問の先生が「良い会社だよ」と勧めてくれたのも決め手となりました。入社してから私が感じている当社の魅力と強みは、公共工事で多くの賞を受賞している確かな実績と、新入社員に対して教育が手厚いところです。**土木を全く知らずに入社しても、研修期間中に基本を一からしっかりと学ぶことができます。**

### Q 建設業の仕事のやりがいや喜びを教えてください。

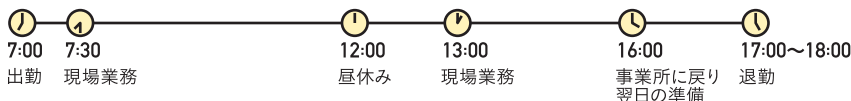
私は今、現場の工事管理で重要な写真撮影を主に任されています。撮影する写真はいくつもあり忙しい日々ですが、忙しい分やりがいがあります。残業の日もありますが100%手当が出ますし、週休二日(土日)、祝日、年末年始、お盆休み、ゴールデンウィークなど休日も充実しているので、**ワーク・ライフ・バランスはばっちりです。**

仕事にも少しずつ慣れてきましたので、建設業界の元バレーボール部だった人たちに声をかけて、**社会人バレーボールチームをつくりたい**と思っています。

### Q 高校2年生の皆さんへ、メッセージをお願いします。

私は将来、自分で現場を持ち、「俺の現場なんだ」と自慢できるようになりたいです。そのためにはわからないことをわからないままにせず、困ったときは先輩にしっかり聞いて自分のものにするなど、たくさん勉強する根気と努力が必要ですが、やる気と元気があればできると信じています。皆さんと一緒に働けたらいいなと、思っています。そのときは、よろしくをお願いします!

1日の  
仕事の  
流れ



繁忙期  
9月~12月▶冬季は  
建設工事がしづらい  
こともあり、発注時期  
が集中します。



※令和4年(2022年)11月現在の内容です。